

台風 の襲来に備えて

「台風シーズン」の到来です。台風は、地震や集中豪雨と違って、ある程度襲来時期や大きさを予測することができません。日ごろから気象情報に注意して、万全の対策を心掛けましょう。

万全の対策で備えよう

台風には十分な警戒を！

台風の死傷者の多くは強風によるものです。台風が接近中に屋根の上について飛ばされて転落したり、家や船、田等の見回りなど屋外での作業中に起こっています。また、大雨により河川等が増水するおそれがありますので、近つかないようにしましょう。

台風が近づいたら

台風が近づいたら、ラジオ・テレビ等の台風情報や気象情報に注意し、余裕を持って行動ができるよう万全の対策をとりましょう。

夜の停電に備えて

停電になっても慌てないように、事前に懐中電灯や携帯ラジオを決まった場所に置いておきましょう。

強風によって電柱が倒れたりすると、長時間に渡り停電する

場合があります。予備の電池や食料品・飲料水を十分用意し、風呂には水を張り（幼児の浴槽への落下に注意）、トイレなどに使う生活用水を確保しておきましょう。

家のまわりの安全点検

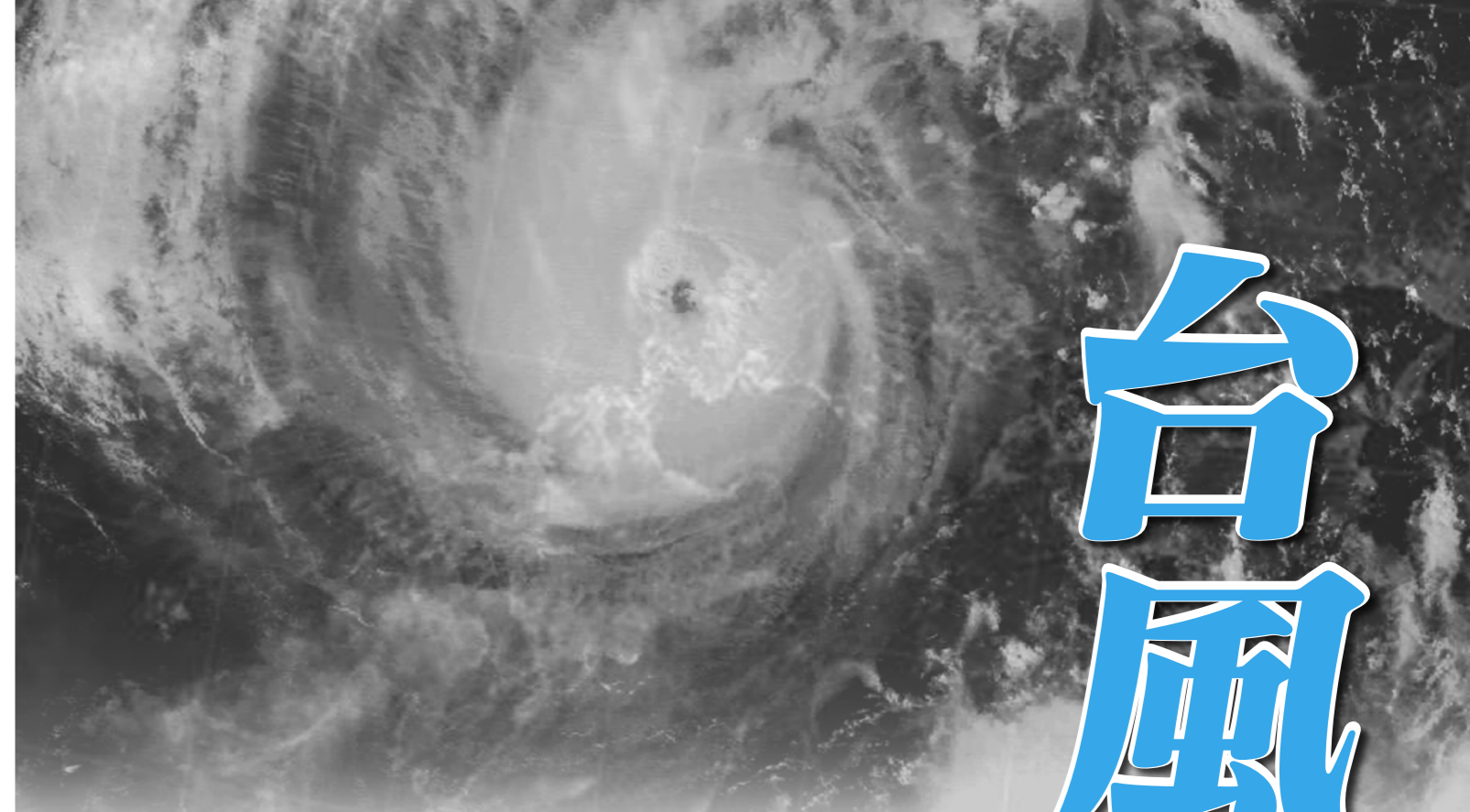
家のまわりの飛ばされそうなものは取り込んでおく
・住宅の瓦、雨戸、アンテナ等の補強をしておく
・水路のゴミや土砂、住宅の雨どいの掃除をしておく

避難の準備

・避難場所を確認し、家族みんなで避難経路の話し合いをし
・高齢者の支度を整えておく

台風通過後の確認

・家のまわりに危険はないか点検しておく



山口県土木防災情報システムを活用しよう

市内6河川（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川）の水位や雨量等の情報は、山口県土木防災情報システムで見ることが出来ます。

山口県土木防災情報システム <http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp>

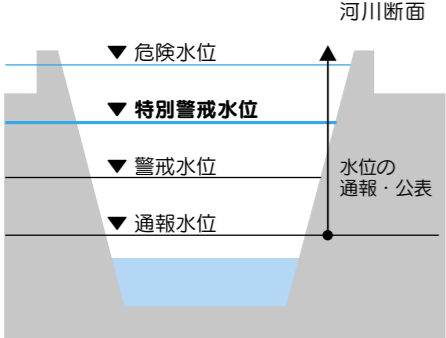
水位情報

■通報水位（指定水位）
洪水のおそれがある水位（河川の監視など消防団が出勤準備にあたるための指標水位）

■警戒水位

洪水により災害の発生を警戒すべき水位（消防団が要員の警戒配置等、出勤にあたるための

河川の水位情報



指標水位)

■特別警戒水位

洪水により災害の発生を特に警戒すべき水位（住民が避難する際に目安となる水位）

■危険水位

洪水により相当の被害が生じるおそれのある水位（堤防決壊などが想定され、住民が避難を完了しておくべき水位）

自主防災組織で

自主防災組織は「自らの地域は自ら守る」という考えで自主的に防災活動を行う組織のことです。自治会や町内会、青年団、婦人会など、地域活動の組織を生かして結成される例が多く、効果を上げるには口頭から災害に備えるの組織づくりが重要です。

■問い合わせ

長門市役所 総務課地域安全係
Tel 23-11111

気象情報・避難情報はこうして伝わります

